

事業所名

児童デイサービスセンター希望ヶ丘

支援プログラム

作成日

令和7 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念		主観的幸福感の追求			
支援方針		・構造化による活動環境を整え、障害特性に応じて時間や空間をわけ、主体的に活動できるよう支援します。 ・一人一人の障害の特性をよく理解し自立を高め達成感をもてるよう、個別支援計画に則った基本的生活習慣（食事、排泄、着脱等）を支援します。 ・療育面談の他、相談窓口を設け、悩み事の相談や児童のアタッチメント形成、ご家族のレスパイト支援等に努めます。また、スムーズな移行ができるよう連携を図ります。 ・学校や地域と密に連携を取り、成長による日常生活状況の変化や体調等を把握し、環境面や衛生面にも配慮しながら、児童が楽しく安全に過ごせる療育の場を提供できるように努めます。			
営業時間		学校休業日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで 学校登校日 13 45 16 45	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・障害特性に応じて、時間や空間をわかりやすいように構造化し、自己選択する力を養います。 ・スケジュールや自立課題を通して、基本的生活習慣の確立に向けた継続的な支援を行います。また家庭と連携し、自立度を高め達成感を持てるよう支援します。 ・意思表示が難しい児童に対しては注意深く観察し、快・不快のサインを見逃さず気持ちよく過ごせるよう支援します。			
	運動・感覚	・必要に応じて、理学療法士による月2回～の機能訓練を行い身体機能の維持・向上に努めます。 ・粗大運動や微細運動をバランスよく取り入れた支援を行います。 ・リトミックやサーキット、センサリーマットや感触遊びにより、楽しく体を動かしたり感覚統合を促します。			
	認知・行動	・視覚支援によるスケジュールや構造化された空間の中で自発的行動を促します。 ・個々に合わせた自立課題を提供し、認知能力を高めます。 ・ソーシャルスキルトレーニングや集団活動を通して、感情コントロールや人との関わり方を身につけます。			
	言語 コミュニケーション	・口形模倣や音声模倣を通して発語を促します。 ・集団活動を通して気持ちを言葉にしたり、その場にあった言葉や行動が出来るよう支援します。 ・指差しやサインなどの非言語的コミュニケーションを用いて安心して意思の伝達ができるよう支援します。			
	人間関係 社会性	・身近な人との信頼関係を築きアタッチメントの形成・安定に努めます。また他者との適切な距離感を把握できるように支援します。 ・集団の中で活動することによりルールを守ることの大切さや、相手の気持ちを考えること自分の気持ちの伝え方などを身につけ、安定した人間関係の形成を支援します。 ・係活動や行事での役割を持つことで、達成感や自己肯定感を高めていきます。			
家族支援		・送迎時やお迎えの際に、日々の情報共有を行っています。また、本人やご家族との年2回の療育面談の他に、相談窓口を設け悩み事など相談できる場を設けています。 ・レスパイト支援や就労等での預かりニーズにも対応しています。	移行支援	・他事業所や学校等、他関係機関と連携し包括的な支援を行える環境作りに努めます。 ・安心して移行できるよう、ライフステージの切り替えを見据えた支援計画のもと支援を行います。	
地域支援・地域連携		・他関係機関との情報共有を行い、共通理解のもと支援が行えるように努めます。 ・地域イベントの参加や、公共施設等の地域資源の活用を通して、身近な地域の中で安心して過ごせるよう支援します。	職員の質の向上	・入職時の新人研修 ・毎月1回の内部研修（虐待、リスクマネジメント等） ・事業所外での研修会への参加（強度行動障害、自閉症、ペアレントトレーニング、ティーチャーストレーニング等）	
主な行事等		お誕生会、毎月の季節の行事（お花見会、クリスマス会等）、外出行事、クッキング、買い物体験等			